

令和4年度第17回市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：地域が抱える課題

【日 時】 令和4年11月1日（火） 18時30分 ～ 19時30分
【場 所】 上宇部ふれあいセンター
【出席者】 ○篠崎市長 上宇部地区地域づくり協議会 会長：浅田 宏之 上宇部地区社会福祉協議会 会長：藤井 芳治 上宇部地区自治会連合会 会長：大谷 欣士 上宇部地区婦人部連合会 会長：白木 優子 上宇部中学校PTA 会長：林 宏次 上宇部地区子ども会育成連絡協議会 副会長：久重 久美子 ○総合政策部 ○事務局（広報広聴課、上宇部ふれあいセンター、地域支援員）
【概 要】 1 開会 2 出席者紹介 3 参加者と市長との意見交換 4 閉会
【意見交換・懇談】 ○地域の活性化について 【地域づくり協議会会長】 ・住民にとって住んでいる地域が住みよい安心安全な地域として機能していることが重要で、その要件の一つに地域活動の活性化がある。宇部市における地域活動支援の3つの課題、①地域活動助成金が他市と比べて少ない②地域運営について指定管理者制度の検討やふれあいセンターの館長の在り方③市民活動課の名称変更について提案したい。 ・センターの館長については、地域から出したほうがよいのではないかと。地域のことがよくわかっているし、他市でもうまくいってる事例を知っている。 【市長】 ・助成金については、山口市と比較してほぼ同額である。大事なものは、金額もさることながら、助成金の使い方にある。引き続き有効に活用していただきたい。 ・指定管理者制度については、今後、ご意見を参考に検討していく。 ・ふれあいセンター館長については、民間経験者が良いとの意見をもとに任用しているが、最近では行政経験者のほうが地域のことがわかるのではないかとの声もある。また、地域との相性の良し悪しなど、様々な問題がある。館長は地域運営において重要な立場にあり、今後も様々な意見を取り入れながら、館長の在り方について考えていきたい。

○上宇部会館のエレベーター設置について

【社会福祉協議会会長】

- ・地域活動の拠点として上宇部会館は、地域になくってはならない施設である。昨年の懇談会で、本館にエレベーターの設置を要望したが、「公共施設等個別施設計画」の中で設置について検討するとの回答であった。しかし、その後何ら進展がないまま今日に来ている。地区では一部を負担してでも設置を検討しているが、市の方針を再度伺いたい。

【市長】

- ・会館の利便性向上、長寿命化に向け、既存建物の構造や事業費の面も含めたエレベーターの設置について、「宇部市公共施設等個別施設計画」に基づき、予算についても確保を目指しながら検討をしていきたい。

○通学路の安全確保について

【自治会連合会会長】

- ・開地区の歩道整備（風呂が迫交差点の東）、信号機設置（セブンイレブン前）を幾度となく要望しているが、出来ない理由を説明され一向に進展がない。できる方策を探ってもらいたい。

【市長】

- ・子どもの通学路でもあり、公安委員会に直接要望に行く予定にしているので、要望に行く際は、自治会の方も同行してほしい。

○空き家対策について

【自治会連合会会長】

- ・昨年も空き家の草木繁茂の課題を提案したが、解決に至っていない。空き家対策を前向きに捉えて、有効活用など取り組む具体案はないか。例えば、上宇部地区を居住地区として位置づけた空き家活用のモデルケースとして検討してはどうか。

【市長】

- ・空き家は個人の財産であり、行政が手を出しにくい問題である。不動産登記法では、今後、相続人に対し3年以内に登記をすることを義務付けていくことになるが、それだけでは不十分である。
- ・空き家になる前に、空き家物件が流通できるよう、不動産、金融、法律のプロを交えた仕組み作りを、現在検討している。空き家問題で困ったら、住宅政策課が担当する空き家110番に相談してほしい。また、空き家になりそうな物件については、住宅情報バンクの活用も検討してほしい。

○集会所・防犯灯等の維持管理費の減免措置について

【自治会連合会会長】

- ・自治会が管理している集会所の費用負担を軽減してほしい。例えば、集会所の上下水

道使用量が少ないところでも基本料金を払っている。また、防犯灯は、設置数が多く自治会にとって負担が大きい。増設希望があるが、予算面で難しいのでできない。電気料金の補助は出来ないか。

【市長】

- ・早い段階で設置されたLED灯が更新時期であり、当面はこちらの助成を優先するため、地元負担である維持管理費の電気代の補助は難しい。

○婦人部の活動活性化について

【婦人部連合会会長】

- ・過去、地域での女性の活動する場としての婦人部（婦人会）の役割は大きかった。最近では婦人部組織が衰退している。48自治会がある上宇部地区には、婦人部が組織されていない自治会が18区ある。宇部市においても婦人部が活動している地区は3地区に過ぎない。国や行政は「女性の活躍する社会の実現」を推奨しているが、何らかの支援はできないか。

【市長】

- ・婦人部の数が減った原因を教えてください。

【婦人部連合会会長】

- ・共働きで参加者が減った。どうしたら、仕事をする人を巻き込めるかが課題である。

【市長】

- ・余力のある人を巻き込む。婦人部内の必要な役職、そうでない役職などの整理、職務などの棚卸を検討されてはどうだろうか。
- ・今後、婦人会の方々から話を伺いながら、問題の解決をすすめていきたい。

○宇部市所管の団体への支援のあり方について

【婦人部連合会会長】

- ・宇部市所管の地域団体である母子保健推進委員会、食生活改善推進協議会や社会教育推進委員会等の活動において、行政があるべき姿を示して、地域が主体で活動できるように支援をしていただきたい。

【市長】

- ・食生活改善推進協議会、母子保健推進委員会等のあるべき姿についても、整理が必要である。各組織それぞれの問題をとりまとめ、改めて相談していただきたい。

○防犯カメラの設置について

【上宇部中学校PTA会長】

- ・上宇部には防犯カメラの設置箇所が少ない。事件・事故の早期解決するために設置を要望する。

【市長】

- ・防犯カメラは、防犯対策の面で重要と考えているが、プライバシー保護の問題があ

る。要望がある場合は、あらためて自治会内の意見をまとめてほしい。

○市内公共交通整備について

【上宇部中学校PTA会長】

- ・川添方面にはバス路線がないので、地域循環バス等の実現の可能性はないか。また、市営バスの有効活用策として、乗り換え自由化や回送便の活用等を検討してほしい。

【市長】

- ・該当のルートは、路線の構造の問題で、バス停設置場所の確保ができない。地域内交通という手段もあり、これについては、担当課から制度の説明をするので、地域内の意見をとりまとめていただきたい。

○中高生の遊び場の設置について

【上宇部中学校PTA会長】

- ・オリンピック種目にもなり競技人口も増えているスケボー等ができるスポーツパークを開設してほしい。

【市長】

- ・恩田スポーツパーク構想内で、スケボーパークも開設する予定としているので期待してほしい。

○子ども会について

【上宇部協議会副会長】

- ・子ども会の会員減少は、市内全域ですすんでいる深刻な問題として、市政懇談会でも多数取り上げられていることは承知している。上宇部地区も同様であるが、一つの打開策として、今年度から自治会単位の子ども会に加え、個人で加入できるようにした。効果は徐々に出ているが、市も市子連とも協力して加入率アップの後押しをしてほしい。

【市長】

- ・子ども会活動については、様々な問題がある。11月8日に、子ども会役員・PTA・その他地域関係者を交え、市政懇談会を実施する。その中で、今後の子ども会について建設的な議論をしていきたい。

○真締川、時雨川の保全改修について

【社会福祉協議会会長】

- ・上宇部地区で最も心配される災害危険個所である、真締川・時雨川の改修については昨年も要望したが、何ら改善の兆しがない。河川は県の管理と承知しているが、地域と一緒に治水・改修を要望する。

【市長】

- ・ 去年の市政懇談会后、速やかに県に要望したところ、真締川の浚渫工事について、令和5年度に予算化される予定と聞いている。あらためて問題等が出てくれば教えてほしい。

○公園のトイレについて

【社会福祉協議会会長】

- ・ 公園のトイレが汚いので改善してほしい。新たに設置する場合は、キッチンカーが2台くらい入るスペースを設け、キッチンカー所有者にトイレを清掃させる仕組みを提案する。

【市長】

- ・ トイレは随時更新している。新川駅のトイレについては、山口大学工学部の学生のデザインを取り入れた。共生社会の推進をしていく中で、様々な意見を聴き、新たな取り組みをすすめていきたい。